

「令和5年度いわて新農業人チャレンジファーム第9回研修を開催しました！」

第9回の研修は、令和5年7月14日(金)、15日(土)に、雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の研修では、病害虫・雑草管理①、にんじんの栽培についての講義と、にんじんのは種と栽培野菜の管理等の実習を行いました。

病害虫・雑草管理①の講義では、始めに、病害虫について、発病の3つの要素(病原体・遺伝的要素・環境)では、全ての植物があらゆる病気に感染するというわけではなく、植物と病原菌の寄生の関係は「遺伝子」で決まっていることと、病気が発生するには、生育環境が大きく影響するということが、また、植物を病気にする病原体の概要について学びました。

併せて、実習ほ場で栽培している野菜の主な病害虫の解説を受けました。

雑草については、主に畑地雑草の耕種的防除方法と、除草剤を利用した防除方法につ

いて学びました。各防除法についての留意点は、耕種的防除では、雑草の種ができる前に除草することと、丁寧に地下茎を掘り取ること、また、除草剤を使用した防除法では病気になる前に使用することと、必ず使用方法を遵守することが挙げられました。

受講生からは、「耕種的防除と除草剤を上手く組み合わせて雑草対策を行いたい。」などの感想がありました。

実習ではにんじんの播種と実習野菜の管理を行いました。

実習ほ場における栽培野菜には、ウスカワマイマイ等の害虫による被害も散見されるため、受講生は対策の重要性を実感しているようでした。

次回の研修は、7月21日(金)、22日(土)に、外部講師をお招きして、岩手の花きに関する講義、実習では、栽培野菜の管理を行う予定です。



講義「病害虫・雑草管理①」の様子



トマトの摘果の様子



にんじんのは種の様子



ピーマンの誘引ネット設置の様子